

【 「うた乃」の育苗(二次育苗) 】～鉢上げ後の管理～

鉢上げ後は高温時期でもあるので活着するまで朝と昼にたっぷり灌水を行ってください。高温をやわらげるため、遮光を行うことも有効です。

活着すると新葉が伸び出し、少しずつ大きくなっていきます。

固形肥料（IBS 1 等）の場合、鉢上げ1週間後に1回目、その20日後に2回目の施肥を各1粒ずつ行います。株の根元に施肥すると肥料焼けを起こすため、特に最初の1粒目については必ず株元から2～3cm離して置き、できれば少し押さえて転がらないようにしてください。（肥料成分が配合されている培土を想定していますが、無肥料培土の場合は適宜調節してください。）

葉かきは、鉢上げ2～3週間後に根が活着してから行います。始めはクラウンが細いため、株を傷めないよう株元を押さえながら葉かきを行ってください。その後1～2週間に1回程度、葉数3枚くらいになるように行います。

株が大きくなってきたら、株間を拡げることも必要になります。

株が小さい間は薬害に注意してください。また、種子繁殖型イチゴはランナー切り作業が無く、農薬使用回数のカウントが播種から収穫終了まで通算されることにも注意が必要です。

【参考】農業研究所の二次育苗苗の様子（9cmポット苗）



7月13日（鉢上げ直後）



7月22日

施肥：プロミック（8-8-8）小粒・遅効きタイプ（7月13日施肥）

※遅効きタイプのため、鉢上げ当日に施肥

灌水：ガラス温室内で頭上散水

遮光ネット：ら～くらくスーパーホワイトライト L55 展張